

## 仕 様 書

- 1 業 務 名 平成25年度購入X線TV装置点検業務
- 2 履行場所 市立旭川病院
- 3 履行期間 令和7年8月1日から令和7年8月31日まで
- 4 機 器 名 X線TV装置 (第10、11撮影室) 島津 SONIALVISION G4 二式
- 5 業務内容

### (1) 点検を行うシステム内訳

- ・第10撮影室 D150BC-40S、ZS-200、DR-300、0.7/1.2P364JG ※管理No.6424
- ・第11撮影室 D150BC-40S、ZS-200、DR-300、0.7/1.2P364JG ※管理No.6425

### (2) システム各部について、次の内容を点検する。

- ・設置環境の確認 (X線照射中表示灯の確認、温度・湿度の測定)
- ・装置使用状況の確認 (装置外観、銘板の確認、装置の周囲環境)
- ・電源及び接地の確認 (電源電圧の測定、接地線接続)
- ・X線管装置 (X線管装置の状態、X線管装置の取付部、高圧ケーブル・ブッシング、X線管装置熱交換器)
- ・X線発生装置 (装置内部、高圧ケーブル・ブッシング、透視動作、撮影動作、透視管電圧精度、透視管電流精度、管電圧精度、管電流精度、撮影時間精度、制御回路、最大透視線量、自動露出、面積線量計)
- ・FPD冷却器 (空冷式FPD冷却器)
- ・画像処理装置 (装置内部、画像収集動作、画質評価、画像処理機能、画像書き込み・読み出し、ネットワーク接続、サイドステーション、時刻設定)
- ・透視台装置 (制御回路、天板昇降機構、天板左右動機構、天板起倒機構、受像系縦移動機構、支柱系縦移動機構、X線管回転機構 (射入)、X線管上下動機構、圧迫筒駆動機構、肩当て、踏み台、握り棒、リモート操作盤、ローカル操作盤、本体操作盤、コリメータ)
- ・モニター装置 (検査室側ライブモニター、検査室側リファレンスモニター、操作室側ライブモニター、操作室側リファレンスモニター)
- ・インターホン
- ・点検後システム動作確認

- (3) 装置総合安全点検をする。(機械全般)
- (4) X線出力確認再調整をする。(X線管電流・管電圧)
- (5) ホトタイマー撮影動作確認、調整をする。
- (6) 各消耗品交換をすること。(バックアップバッテリー、ヒューズ等)
- (7) 画質等確認、調整をする。

## 6 業務完了報告

定期点検終了後、速やかに報告書を2部(中央放射線科及び契約担当課に各1部)及び業務完了報告書を1部(契約担当課)提出する。

## 7 委託料の支払

委託料は一括後払いとし、業務完了報告書の検査に合格し、適法な請求書の提出を受けた後に支払うものとする。

## 8 その他

- (1) 業務の履行に際しては、病院事業に支障を生じないように安全迅速に処理することとし、作業を行うときはその時間・内容等を事前に担当者に伝えとともに患者等の安全に十分配慮すること。  
また、業務予定に変更等が生じる場合は、両者協議の上作業日程等を決定すること。
- (2) 業務の履行中に第三者に損害を与えた場合は、速やかに担当職員(病院担当者)へ報告するとともに、その損害を賠償することとする。ただし、相手方の責めに帰すべき事由のものはこの限りではない。
- (3) 業務の実施により発生した廃棄物(一般廃棄物を除く)は、受託者が適切に処理すること。
- (4) 業務履行時における作業員の駐車場所(自動車のみ)については、原則として当院駐車場(当院敷地内を含む)を使用してはならない。  
  
ただし、月に1回前後又はこれ以下の作業を行う業務委託の場合で、当該作業員が登院するために自動車を用いる場合は、当院の業者用玄関前に駐車することを認める。この場合においては、業者用玄関前の区域は駐車台数が限られているため、可能な限り駐車は避け、作業員を登院させた後に自動車を移動させたり、他の業者と作業時間が競合する場合は作業日程を調整するなどの配慮をすること。
- (5) この仕様書で示す業務の全部を一括して又は指定した部分を第三者に委託してはならない。
- (6) この仕様書で示す業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ書面にて旭川市病院事業管理者の承諾を得ること。
- (7) この仕様書に定めのない事項については、協議の上業務を処理するものとする。